

# 対市交渉

教育基本法守れ！  
 「評価育成システム」を撤回せよ！  
 教職員の長時間多忙な労働を根本から改善せよ！  
 「初任研」の負担を軽減せよ！  
 教育予算を確保せよ！  
 同和行政・同和教育行政を根本から見直せ！



11月13日に全教豊中は、豊中市教育委員会と交渉をもちました。池田委員長のあいさつの後、山元教育長のあいさつ、そして、要求書を手交して、本年度の最重要の要求に基づき交渉を行いました。

「評価育成システム」  
 管理職の資質に問題あり

このシステムの撤回を基本姿勢にしていることを明確にしつつ、交渉では、公平・客観的に評価者が評価できるのかという点で、管理職の資質の問題を指摘。

A小学校では管理職が教職員に対して暴言を繰り返して吐くなどして職場がとても暗い実情や、B小学校ではパソコンの苦手な教職員に対して、「もうそろそろ考えたら…」と退職をにわすような発言をするなど、評価者の管理職の資質の問題を指摘しました。

管理職の問題ある言動があればすぐに指導すると答えました。

管理職も超多忙！  
 学校現場の多忙は限界  
 具体的な改善の条件整備を

ここ数年、病欠・休職者が多数生まれていることをデータで示しました。本来教職員定数は正規教職員を配置すべきなのに、どの学校にも定数内講師が多数配置されています。年度途中の病休が生じた場合など、なかなか講師が配置されず、その間は現場でその分を担っている実態。

また、教頭など管理職も公民館活動などにかかわり休日もかなり出勤している実態なども指摘しました。

週休日の行事や社会教育の行事の持ち方を見直していく必要があるとの認識を示しました。そのために、各関係課が集まって状況把握していくと答えました。  
 休憩・休息時間についても何らかの手立てを示さなくてはならないとの考えを示しました。

「初任研」  
 運動会直前週の研修など改善せよ



## 2泊3日 東北・蔵王へ

飛行機でひとつとび  
 午後にはもうゲレンデ！  
 朝一番便出発、夕方便帰りたっぷり滑れる

## いきいきスキーツアー

日時 12月25日(月)～27日(水)  
 行き先 東北・蔵王温泉  
 宿泊先 ホテル・ヴァルトヴェルク  
 費用 42000円(朝食・夕食付)  
 互助組合の旅行業者宿泊補助券利用可能

温泉もよし、スキー・スノボもよし。毎年大好評のスキーツアーです。ぜひ、一緒に行きましょう。

お問い合わせ スキーツアー企画実行委員会  
 島本(豊島北)または、全教豊中まで

校外研修の日程が、運動会直前に組まれていたり、夏期休業中のお盆前後に府と市の研修が入り、地方出身者が帰省すらできなかつたりなど、こうした日程を改善すべきと求めました。市教委は、現状の中では最善と述べるにとどまりましたが、報告書類については、昨年度よりさらに簡素化をすすめたことを明らかにしました。

次号に対市交渉内容は引き続き報告します。

全教

380

2006年11月29日

## とよなか

全教豊中教職員組合

〒561 0874 豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

HP <http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

# 府民の共同の力で 部落問題解決の最終段階を切り開こう

2006年8月1日  
民主主義と人権を守る府民連合

(4)

部落問題解決の最終段階を切り開くために

私たちは、大阪府・大阪市との交渉、マスコミとの懇談、府民宣伝、労組・民主団体との連携強化のために全力をあげる決意です。そして府民のみならずとの共同した力で以下の課題の実現をはかり、部落問題解決の最終段階を切り開きたいと考えるものです。

大阪府・大阪市に、暴力利権集団「解同」との関係をいっさい断ち切らせましょう。

大阪府・大阪市に、行政の隅々にまで及び解同利権の構造を徹底的に明るみに出させましょう。



大阪府・大阪市に、行政の主体性と責任を確立させ、同和行政を完全に終結させましょう。

大阪府・大阪市に、「人権」の名による人権抑圧機関である「府人権協会」「市人権協会」を解散させましょう。

大阪府・大阪市に、解同の考えを一方向的に注入する「教育・啓発」をやめさせましょう。

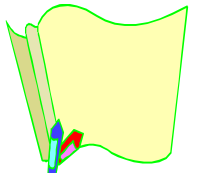
大阪府・大阪市に、「法」のものと平等の原則にたつて、公平・公正で府・市民にあたたかい行政を推進させましょう。

マスコミに、「解同タブー」を打ち破り、真実の報道・評論を貫くことを求めましょう。民権連との意見交換も含め、多くの判例や政府関係文書の到達点に学び、部落問題解決の最終段階におけるふさわしい報道を求めましょう。

大阪府民の共同の力で、民主主義と人権が尊重される地域社会づくりを前進させ、いかなる暴力・利権にも反対し、部落差別がまったく問題にならない地域づくりをすすめましょう。

大阪府民の共同の力で、民主主義と人権が尊重される地域社会づくりを前進させ、いかなる暴力・利権にも反対し、部落差別がまったく問題にならない地域づくりをすすめましょう。

おわり



## 感想 「全国教育研究集会」に参加して

南丘小 多鹿

昨年の大教組教研に「詩の鑑賞指導」のレポートを発表したことがきっかけで、今夏、全国教研に参加させてもらうことになりました。

右翼の街宣車と機動隊を横目に、第一日目の所沢市民文化センターへ。藤本義一さんの講演は素晴らしかったです。自身の人生を振り返りながら平和と教育の大切さについて、笑いをまじえながらも鋭く訴えかける内容でした。

ところで、この集會に参加して私がいちばん印象に残つ

たことは、全国の教育現場にかけられている厳しい状況です。発表者の口から語られる職場の厳しさを聞いて、「北から南まで、ここまで来ているのか!」と驚きました。

(正確さに欠けるかもしれませんが)東京では、日の丸・国歌の問題などで、言うことを聞かない教師は通勤できない地域へ転勤。仕方なく辞めていく教師も多いと聞く。

京都では、投げ込み教材を使用したかったら教育委員会へ許可申請を出さねばならないこと、学級文集・学級便りの厳しい検閲(内容についての書き直しの強制)、始業式などの午後も授業の実施などなど。

広島ではPISAの結果から「ことばの教育」パイロット校事業を実施。つくば言語技術研究所(三森ゆりか氏提案)の理論の強制。各校の研究主任に言語技術指導講習を受けさせ、受けた者には修了証を発行し指導員として学校をまわらせる。そして、これが管理職への道と直結。

レポーターや共同研究者の口から語られる現状を聞きな



がら、自分の勤務地大阪豊中に思いをめぐらせてみる。管理強化がきつくなつたと思う。が、しかし、まだ研究内容などで自由が残されている。そのいい例が、市教研。十人の共同研究者がいれば、内容自由で発足でき、場所と時間とが保障され、研究費まで与えられ、出張扱いで参加できる。こんな所は日本全国探してもあまりないのではないだろうか。

初めての全国教研。それもレポーターとして参加でき、いい勉強をさせてもらいました。

